

4

憲章の実現に向けた県民総ぐるみの取組み

(2) 教育や文化芸術・スポーツにおける取組み

基本的な考え方

ともに生きる社会の実現に向け、すべての子どもができるだけ同じ場でともに学び、ともに育つことで相互理解を深め、個性を尊重し支え合う力や協働する力を育む、インクルーシブ教育の推進を図るとともに、障がい者が、地域の一員として、生活を楽しめるよう、文化芸術活動やスポーツ等に触れる機会の提供、充実を図ります。

1 取組実績

<成果目標の達成状況>

把握すべき状況① 多様な学び場のしくみづくり

成果目標	ねんど	もくひょうち	じっせきち	たっせいりつ	おも とりくみ
成果目標	年度	目標値	実績値	達成率	主な取組による成果
幼・小・中・高等学校等において、個別の指導計画の作成を必要とする児童等のうち、実際に個別の指導計画が作成されている学校の割合(%) ※公立学校対象 65	H30		95.5		○個別教育計画に基づき、通学による教育が困難な児童・生徒の教育の機会均等を保障するため、担当教員等による家庭や施設等への訪問教育を実施した。 ○早期のうちに障がいに基づき、早い段階から適切な支援を受けることの促進を図るため、精神科医、眼科医による医療相談を実施した。 ・精神科医への相談【27件】 ・眼科医への相談【5件】 ・相談者数(延べ)【64名】
	R1	95.0	※	-	
	R2	96.7	※ 文部科学省の調査に基づくため、令和元年度の実績値は今後把握予定		
	R3	98.3			
	R4	100			
	R5	100			
幼・小・中・高等学校等において、個別の教育支援計画の作成を必要とする児童等のうち、実際に個別の教育支援計画が作成されている学校の割合(%)	H30		77.7		
	R1	89.9	※	-	
	R2	93.3	※ 文部科学省の調査に基づくため、令和元年度の実績値は今後把握予定		
	R3	96.6			
	R4	100			
	R5	100			

(成果目標の状況)

○ 小・中・高等学校等において、個別の指導計画等の作成を必要とする児童等のうち、実際に個別の指導計画が作成されている学校の割合と、個別の教育支援計画が作成されている学校の割合は、令和元年度の目標をそれぞれ95.0%、89.9%としているが、文部科学省の調査結果に基づく数値のため、令和元年度の実績値は今後把握予定(時期未定)である。

把握すべき状況② 特別支援教育に関する専門性の向上

成果目標	ねんど 年度	もくひょうち 目標値	じっせきち 実績値	たっせいりつ 達成率	おも とりくみ 主な取組による成果
特別支援学校の教師の 特別支援学校教諭 免許状保有率(%)	H30		94.6		○特別支援学校等の教員で基礎 免許状のみを有する者に対し、特別 支援学校教諭普通免許状の取得に 必要な免許法認定講習会を開催し た。 ・講座開設数【21講座】 ・受講者数(延人数)【2,543名】
	R1	89.2	94.7	106.1%	
	R2	100			
	R3	-			
	R4	-			
	R5	-			

67

(成果目標の状況)

○ 特別支援学校の教師の特別支援学校教諭免許状保有率は、令和元年度の目標89.2%に対し、実績は94.7%で、達成率は106.1%、最終目標(100%)に対する進捗率は、94.7%となった。

把握すべき状況③ 特別支援学校への音楽家の派遣

成果目標	ねんど 年度	もくひょうち 目標値	じっせきち 実績値	たっせいりつ 達成率	おも とりくみ 主な取組による成果
音楽堂による特別支援 学校へのアウトリーチ実施 校数(校)	H30		3		○会場へ足を運ぶことが困難な県立 特別支援学校の子どもたちに、プロに よる生の音楽の魅力と楽しさを体験で きる機会を提供するため、パーカッショ ンの演奏や楽器に触れる体験を実施 した。【実施校:2校、生徒数:137人】
	R1	2	2	100%	
	R2	2			
	R3	-			
	R4	-			
	R5	-			

68

(成果目標の状況)

○ 令和2年度まで毎年2校とすることを目標としているが、令和元年度実績は2校となり、達成率は100%だった。

把握すべき状況④ 障がい者等の文化芸術活動の普及

成果目標	年度	目標値	実績値	達成率	主な取組による成果
共生共創事業の公演等の参加者数(人)	H30		2,532		○共生共創事業として障がい者や高齢者が参加する舞台公演等を実施した。 【開催回数:33回】
	R1	5,000	6,947	138.9%	
	R2	5,400			
	R3	5,700			
	R4	6,000			
	R5	6,000			

69

(成果目標の状況)

○ 共生共創事業の公演等の参加者数は、令和元年度の目標5,000人に対し、実績は6,947人で、達成率は138.9%、最終目標(6,000人)に対する進捗率は、115.7%だった。

成果目標	年度	目標値	実績値	達成率	主な取組による成果	
神奈川県障害者文化・芸術祭の参加団体数(団体)	H30		20		○神奈川県障害者文化・芸術祭を2日間開催した。 ・参加者【209名】 ・出展作品数【216点】	
	R1		22	110.0%		
	R2	ぜんねんど 前年度 いじょう 以上				
	R3					
	R4					
	R5					
R5						

70

(成果目標の状況)

○ 毎年度前年度以上の参加団体数を確保することが目標であるが、令和元年度は22団体と、前年度の20団体を上回り、令和元年度目標の達成率は、110.0%となった。

把握すべき状況⑤ 障がい者スポーツを支える人材の養成等

成果目標	年度	目標値	実績値	達成率	主な取組による成果
県内の障がい者スポーツの指導者数(人)	H27		1,346		○初級障がい者スポーツ指導者養成講習会を開催した。 ・開催回数【1回】 ・修了者数【39名】
	R1	1,616	1,435	88.7%	
	R2	1,726			
	R3	1,836			
	R4				
	R5				

71

(成果目標の状況)

○ 県内の障がい者スポーツの指導者数は、令和元年度の目標1,616人に対し、実績は1,435人で、達成率は88.7%、最終目標(1,836人)に対する進捗率は、78.1%だった。

<その他の取組による成果>

教育の振興

- 「インクルーシブ教育推進フォーラム」を県内4会場(うち3回は市町と共催)で開催した。【参加者数延べ810人】
- 県内特別支援学校等の知的障がいのある高等部等の生徒を対象に清掃技能検定を実施した。【年2回、564名の生徒が受検(受検校は36校で、前年度より1校増)】
- 県立特別支援学校において、特別支援教育等に関する相談・情報提供、障がいのある幼児・児童・生徒への指導・支援等を実施した。【来校・電話相談2,760件、巡回相談3,200件】

文化・芸術活動・スポーツ等の振興

- 「かながわパラスポーツ」普及推進のため、パラリンピアンによる講演会や、パラリンピック競技等の体験会等を行う「かながわパラスポーツフェスタ2019」、「かながわボッチャ2019」、「かながわパラスポーツビーチフェスタ2019」を県内4か所で開催した。
- 神奈川県障害者スポーツ大会を開催した。【6競技7種目、参加者数延べ1,306名】

2 一次評価

<点検・評価の結果>

概ね順調に進んでいます

(評価の理由)

- 成果目標については、7項目のうち実績値を把握できた5項目中4項目で、令和元年度の目標を達成した。
- 本分野では、インクルーシブ教育の推進、障がい者が文化芸術活動やスポーツに触れる機会の提供、充実等に取り組むこととしている。
- インクルーシブ教育の推進について、成果目標としている「個別の指導計画が作成されている学校の割合」及び「個別の教育支援計画が作成されている学校の割合」は、評価時点で把握できていない。一方、「特別支援学校の教師の特別支援学校教諭免許状保有率」は、令和元年度の目標を達成しており、取組は順調に進んでいる。
- 障がい者が文化芸術活動に触れる機会の提供等について、成果目標としている「音楽堂による特別支援学校へのアウトリーチ実施校数」は、令和元年度の目標を達成した。また、「共生共創事業の公演等参加者数」は、令和元年度の目標達成率が138.9%となり、目標を大幅に超えた。さらに、「神奈川県障害者文化・芸術祭の参加団体数」は、令和元年度の目標を達成しており、取組は順調に進んでいる。
- 障がい者がスポーツに触れる機会の提供等について、成果目標としている「県内の障がい者スポーツ指導者数」は、令和元年度の目標を達成しなかったが、神奈川県障害者スポーツ大会は、多くの障がい者が

参加しており、取組は概ね順調に進んでいる。

- これらを総合的に判断し、令和元年度については「概ね順調に進んでいる」と評価した。

＜今後の課題と対応＞

文化・芸術活動・スポーツ等の振興

- 初級障がい者スポーツ指導者養成講習会については、修了者数の目標(達成率88.7%)が達成できなかったため、継続的に養成を行っていくことで登録者数の増に努める必要がある。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術活動やスポーツに取り組むことが難しくなっている状況があるが、感染予防策の徹底や、オンラインの活用など代替手法を検討し、障がい者の文化芸術活動や、スポーツ等に触れる機会の充実に努める必要がある。

3 最終評価

＜最終評価＞

概ね順調に進んでいます

(評価の理由)

- 成果目標については、7項目のうち実績値を把握できた5項目中4項目で、令和元年度の目標を達成した。
- 本分野では、インクルーシブ教育の推進、障がい者が文化芸術活動やスポーツに触れる機会の提供、充実等に取り組むこととしている。
- インクルーシブ教育の推進について、成果目標としている「個別の指導計画が作成されている学校の割合」及び「個別の教育支援計画が作成されている学校の割合」は、評価時点で把握できていない。一方、「特別支援学校の教師の特別支援学校教諭免許状保有率」は、令和元年度の目標を達成しており、取組は順調に進んでいる。
- 障がい者が文化芸術活動に触れる機会の提供等について、成果目標としている「音楽堂による特別支援学校へのアウトリーチ実施校数」は、令和元年度の目標を達成した。また、「共生共創事業の公演等の参加者数」は、令和元年度の目標達成率が138.9%となり、目標を大幅に超えた。さらに、「神奈川県障害者文化・芸術祭の参加団体数」は、令和元年度の目標を達成しており、取組は順調に進んでいる。
- 障がい者がスポーツに触れる機会の提供等について、成果目標としている「県内の障がい者スポーツ指導者数」は、令和元年度の目標を達成しなかったが、神奈川県障害者スポーツ大会は、多くの障がい者が参加しており、取組は概ね順調に進んでいる。
- これらを総合的に判断し、令和元年度については「概ね順調に進んでいる」と評価した。